

第5学年 国語科学習指導案		授業者	場所	5年教室
単元名	単元名 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう 教材名 「なまえつけてよ」		本時	4 / 5
ねらい	春花の勇太への心情の変化を読み取ることを通して、作者が「なまえつけてよ」という題名にした意図を考えることができる。			
過程	本時の展開			
	学習内容	指導・援助 ※評価規準		
つかむ (5)	<p>1 これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人の関わりの変化について心に残った、という最初の感想を紹介する。 <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作者は、どうして「なまえつけてよ」という題名をつけたのだろう。</p> </div> <p>考える視点 くらべる 心情 出来事</p> <p>3 「なまえつけてよ」という言葉の始めと終わりについて、春花と勇太の人間関係の変化を考える。</p> <p>(始め) 教科書 P19L4 「名前、つけてよ」 牧場のおばさん→春花 春花と勇太は、出会ったばかりで、仲良くしたいけどぎくしゃくしている。</p> <p>(終わり) 教科書 P26L11 「なまえつけてよ」 紙で折った小さな馬に書いてある勇太→春花 春花が名前をつけられなくて、落ち込んでいるのを気遣っている勇太。春花にとって、勇太は特別な存在になっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1日目と3日目の春花と勇太の気持ちの変化であることを確認する。 ・課題を書き、聞く姿勢ができている児童を価値付ける。 ・「なまえつけてよ」は本文に2カ所あ るけど、どこに書いてある、と問いかける。 ・校庭でサッカーをしている子達は、たくさんいるのに、勇太の姿を見つけた春花の心情や「ありがとう」と心の中でつぶやいたことから、1日目の時と比べてどのように変化したか、と問いかける。 		
考える (15)				
深める (20)	<p>4 春花の、勇太への思いが変化について対話する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子馬に名前をつけられると思っていたら、急につけられないことになり、きっと落ち込んでいると思われる春花になんとかして、元気になってもらおうと思って、折り紙で子馬を作り、なまえつけてよ、と書いて渡したから、春花の勇太への思いが変わったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「どうして、春花の勇太への思いが変わったの。」と問いかける。 ・P26L3 勇太と陸は何も言わない。二人とも、こまったような顔をして、春花の方をじっと見ていた。の場面で勇太の気持ちはどんな気持ちだった、と問いかける。 		
まとめる (5)	<p>5 作者の題名についての思いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして、「名前つけてよ」ではなく、「なまえつけてよ」を題名にしたのだろう。 ・勇太は、名前のように勇気を出して折り紙を折り、なまえつけてよ、と書いた所が良いから、勇気を出して、挑戦してほしいという願いをこめていると思う。 <p>6 本時で学習した内容をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作者が「なまえつけてよ」の題名にこめた願いは、勇太のように勇気を出して、挑戦してほしいだと思います。</p> </div>	<p>※評価規準</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>題名を「なまえつけてよ」にした作者の意図を考えている。 C(1)オ</p> </div>		